

▼ 行政相談委員 居島さんへ感謝状



行政相談活動への功績をたたえて

愛荘町行政相談委員の居島 惣偉智さん(沖)が、長年にわたる行政相談活動への功績が認められ、滋賀行政監視行政相談センターから地域総括評価官感謝状を贈呈されました。

行政相談委員は、総務大臣から委嘱された民間有識者で、国の行政に関する苦情や意見、要望などを受け付け、相談者への助言や関係機関への連絡などを無報酬で行っています。

居島さんは、令和5年4月から愛荘町の行政相談委員として、幅広い行政分野の相談に対応されています。

今後も、行政相談の充実とより良い地域づくりへのご活躍を期待しています。

▼ ピーちゃんの誕生日に集まったキャラクターたち



笑顔あふれるフレンズフェスティバル

6月6日、ふれあい本陣一帯で「愛荘町フレンズフェスティバル」が開催されました。当日は、愛荘町観光協会のキャラクター「ピーちゃん」の誕生日を祝うため、多くのキャラクターたちが会場に集まりました。

ステージでは終日、キャラクターによるショーが繰り広げられ、来場者は写真撮影を楽しみました。

また、会場には飲食や物販などさまざまなブースが並び、家族連れを中心に多くの人でにぎわいました。

参加者からは「キャラクターを間近で見られてうれしいです」「いろいろなステージがあって楽しいです」といった声も聞かれました。

会場はたくさんの笑顔に包まれ、ピーちゃんの誕生日をみんなで祝う温かな一日となりました。

▼ 愛知川東小学校に設置されたウォーターサーバー



子どもたちの笑顔と安全のために

中島商事株式会社(本社:東近江市)から、子どもたちの熱中症予防のため、町内8校園へウォーターサーバーを無償提供されました。

同社は、全国的に熱中症による健康被害が増加する中、子どもたちが安全・安心に学校生活を送れるよう、毎年この取り組みを続けられています。また、設置後も毎月1回、ボトルの無償配送を行い、継続的な支援をいただいています。

ウォーターサーバーの設置に立ち会われた愛知川東小学校の奥村校長は、「子どもたちのためにありがとうございます。お心遣いに感謝いたします。」と述べられました。

▼ 点字付きのトランプを紹介する山野さん



盲導犬とともに学ぶ やさしい社会づくり

6月15日、愛知川東小学校で、4年生を対象に視覚障がい者理解教育が行われました。当日は、全盲の山野さんと盲導犬が来校し、児童たちは盲導犬の役割や視覚障がいのある方の暮らしについて学びました。

山野さんからは、盲導犬がハーネスを付けているときは、声をかけたり触ったりしないことが大切だと説明がありました。また、はがきやお札の見分け方、音声で時間や色を知らせる機器など、日常生活を支える工夫や福祉用具も紹介されました。

児童たちは熱心に話を聞き、「盲導犬にはどうやって餌をあげるのですか」など積極的に質問していました。

今回の学習を通して、相手の立場を考えることの大切さを学びました。

▼ 紙おむつを受け取る親子



1歳のお祝いに紙おむつをプレゼント

町では、今年度から新生児訪問時と子育て支援センターで開催する「きらきらバースデイ」(1歳のお誕生会)で紙おむつを贈る事業を開始しました。

6月17日に子育て支援センターあいつ子で開かれた「きらきらバースデイ」には、翌月に1歳を迎える子どもたちと保護者が参加しました。

町長が会場を訪れ、「健やかに育ってね」と声をかけながら、親子一組一組に紙おむつを手渡しました。

保護者からは「毎日使うものなのでとてもありがたいです」と喜びの声が聞かれました。

町では今後も、子どもたちの健やかな成長を見守り、安心して子育てができるまちづくりを進めていきます。

▼ 降車時に運賃箱へ回数券を入れる児童



バスに乗って交通ルールを学ぼう

6月25日、愛知川東小学校2年生が、交通環境について学ぶ「交通環境学習」に参加しました。

この学習は、公共交通に親しみをもち、環境にやさしい交通行動を選べるようになることを目的に実施されています。

当日は、本物のバスを使って乗車体験を行い、回数券を取って乗車し、降車ボタンを押して運賃を支払い、バスを降りるまでの一連の流れを学びました。また、車内では利用時のルールやマナーについても学習しました。

児童たちは「ドアが閉まるのが早い」「タイヤが6つある」「エンジンが後ろにある」など、普段は気づかない発見に目を輝かせていました。

体験を通して公共交通への理解を深め、身近な交通機関について楽しく学ぶ機会となりました。

▼ つくし保育園へ寄付いただいた大塚さん



子どもたちのために 温かい善意

6月23日、大塚 和子さん(長野)から、つくし保育園の子どもたちのために役立ててほしいと、令和4年に続き2度目となる寄付金をいただきました。

大塚さんは、認知症キャラバンメイトや生活・介護支援サポーターとして地域福祉活動に尽力されるほか、つくし保育園では保育補助として子どもたちと関わっておられます。

大塚さんは「子どもたちからいつも元気をもらっています。地元の保育園の子どもたちのために活用してほしいです」と話され、地域への温かい思いを寄せられました。

いただいた寄付金は、園庭で使用する砂場やテーブルなどの購入に活用させていただく予定です。

▼ 秦荘バレーボール女子チームの皆さん



秦荘女子バレー 県大会で準優勝の快挙

6月27日・28日の2日間、第45回全日本バレーボール小学生滋賀県大会が草津市のトヨタアリーナで開催され、地区予選を勝ち抜いた男女48チームが熱戦を繰り広げました。

愛荘町スポーツ少年団秦荘バレーボール女子チームは、前年度優勝チームをはじめとする強豪を次々と破り、決勝へ進出し、見事準優勝に輝きました。

この結果、7月25日に京都府で開催された近畿スポーツ少年団バレーボール交流大会へ滋賀県代表として出場しました。

秦荘バレーボール女子チーム

林 莉奈、上柳 仁菜、大西 夏美、白井 美羽、西村 心輝羽、細野 明咲、福島 由奈、木村 希穂